

# 市民のひろば

あて先 ㊟ 857 - 8585 (住所不要) 市役所秘書課広報係 (☎ 24 1111)



## おたより コーナー

本紙 4 月号「ご意見有用」欄に、国道筋バス停のごみについてご投稿いただいた喜多さんから、その後の状況についてお便りが届きましたのでご紹介します。

(桜木町・喜多<sup>きた</sup> 俊秋<sup>としあき</sup>さん)

「ご意見有用」への投稿に対し、広報させばと図書券をご恵贈にあずかり、ありがとうございました。

その後、私が設置しておりますごみ箱に、市の注意書きを取り付けていただきましたら、とたんにごみを捨てる量が減ったようです。

でも、市民のマナーはまだまだと思われま。せめて春日バス停や駅前バス停は、時間のある

限り、微力を尽くします。  
皆さまのご多幸とご活躍を念じます。

(広報係から)

お便りありがとうございました。

市制百周年のことは、市外からたくさんの皆さんが本市へ足を運ばれます。この機会に、佐世保の美しさを、ぜひアピールしたいですね。

## お便りをお寄せください

広報紙に対するご感想や、日ごろ感じていること、子育ての悩みなど、皆さんのお便りをお待ちしています。

住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、広報紙に対するご意見を添えてお送りください。



## 広報 クイズ

はがきにクイズの答えと住所、氏名、電話番号、広報紙に対するご意見を書いてお送りください。5月31日必着です。(紙面の中にヒントがあります)

問題 「広報させば」は昭和26年4月の創刊ですが、今月号で第何号でしょうか。

問題 ことし4月1日に表彰された市政功労者は、110人と 団体です。(答えは数字1ケタ)

問題 市のホームページの中で、市民と行政が意見交換するコーナーは、「まちづくり市民 会議」です。(答えはカタカナ3文字)

全問正解者の中から抽選で、毎月3人に図書券をプレゼント。発表は発送をもって代えさせていただきます。



## これって どんな意味

行政用語やカタカナ用語で、「耳にはするけど、よくわからない」というものがあれば、はがきでお寄せください。

## 「ISO」とは?

物やサービスの国際的な標準規格をつくる「国際標準化機構」のことで、ISOが定める規格は、事実上の統一規格として定着しつつあります。最近では企業だけでなく、公的機関もこの規格の取得に積極的になっています。

ISO 9000 シリーズ = 製品の設計・製造から検査までの工程で、企業の品質管理システムを、審査機関が検査して認証する規格。

ISO 14000 シリーズ = 環境保全のための規格。原料の調達からリサイクルまでのあらゆる面で、企業活動の環境への影響を点検し、改善を進めるための規格。

# ご意見有用

市政に対する建設的なご意見を、書面でお寄せください。実名(ふりがな)、年齢、職業、郵便番号、住所、電話番号を書き、「ご意見有用」担当あてと明記してください。採用分には記念品を差し上げます。

## Q 市営バスの利用者として いくつか要望します

神島町 鶴田シズエさん(63歳)

私は市営バスを利用する市民の1人ですが、普段気付いたことをいくつかお知らせします。市営バスの「一日乗車券」を、車内で買えるようにしてください。バス停の時刻表の文字を大きくしてください。降車を知らせるブザーを、通路側のいすにも取り付けてください。

## A (交通局業務課からのお答え)

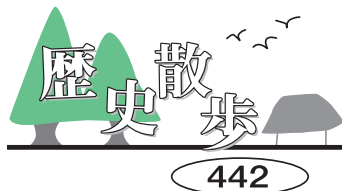
いつも市営バスをご利用いただき、ありがとうございます。

一日乗車券は主に観光を目的にしていますが、有効区間内であれば一日に何回も乗車でき、通勤や買い物にも利用できます。

ご意見については、発売時に手処理で利用日などのゴム印を押しており、一定の時間がかかるため、車内では販売していません。今後希望者が増えれば、車内販売の方法を検討します。

ご意見については、レイアウト(字の配置)や字体を変え、より見やすい時刻表を検討中です。夜間に時刻表を蛍光灯で照らして見やすくする電照バス停の設置も、一部で進めています。

ご意見についてですが、平成12年度から導入している新車には、座席の背面や通路側の手すりなどにも、ブザーを設置しています。今後もこのような新車の導入によって、ブザーの多く付いたバスが少しずつ増えてくると思われますので、ご理解をお願いします。



## 白蛇さま (大黒町)

前畑弾薬庫と沖合いの弁天島(一里<sup>ほこら</sup>)を見下ろす大黒町に「白蛇さま」の祠があります。ご神体は金の宝珠を抱いた二匹の白蛇です。

白蛇は、七福神の一人になっている弁才天(弁財天<sup>うかしん</sup>)の分身で宇賀神と呼ばれ、琵琶湖の竹生島にも祀られています。もとはインドの川の神・サラスバティーで、最初は航路や農業の守護神でした。佐世保港の中央部に浮かぶ弁天島は、昔から人家が集まっていた佐世保浦(佐世保橋付近)からほぼ一里(4km)の位置にあり、航路の一里塚としての意味もあり、安全祈願の弁才天が祀られたのでしょう。

弁天島に一番近い地先が崎辺で、その地に分身の白蛇さまを祀ったのもうなずけます。明治22年(1889)の佐世保軍港発足に伴い、弾薬庫用地として崎辺が買収されたとき、人家、神社、



仏堂も移転しました。

天神5丁目から大黒町にかけては、昭和30年ごろ天神山手線道路が建設され、棚田や畑ばかりだった白蛇さまの祠付近も人家が建ち始めました。牧、金子、岩崎、森山、迎といった姓の人たちも、道ぞいの場所に家を建てました。

白蛇さまの祠の中にある「岩崎観音」「大山大明神・森山」と書かれた小石碑は、これらの地の人が屋敷の守り本尊として付近に安置していたのでしょう。

前畑の地名は、平戸・松浦隆信の第2子惟明が、武雄塚崎城主・後藤貴明の養子に入ったものの、不仲となって帰国、慶長6年(1601)に没するま

でこの地に住んでいたとき、の御前畑にちなみ、屋敷跡や墓地跡も残っています。(筒井隆義)

